

## 北部図書館主催 英語多読講演会

# 英語多読への招待

英語多読は、所謂勉強ではありません。学校時代に行った語彙・文法学習は一旦脇に置き、英文和訳も、あえて避けようとしません。さし絵の助けも借りながら、物語の世界に入り込み、主人公達と笑ったり、怒ったり、ちょっぴり悲しんだりします。それでも一定期間続けると、気づかぬうちに英文を楽に読めるようになっており、TOEIC等で測定できる英語運用能力も向上してしまうのです。

2015年に英語多読用のやさしい英文図書が静岡市立北部図書館に導入され、中学生から社会人まで多くの市民が生涯学習として英語多読を始める環境が整いました。この講座をきっかけに、あなたも英語多読を始めてみませんか。この講座では、図書館を活用した英語多読の始め方を紹介します。

少し前に英語多読を始めたのだけれど続かなかった、多読を楽しめなかったという方もみえるかもしれません。学校時代にやった英語講読のやり方を引きずってしまうと、多読はうまくいかないのです。そこで、この講座では、英語講読と多読との違いも、その考え方から実践上のコツまで、解説します。やり方さえ間違えなければ、英文小説を原作で読めるようになるのは時間の問題です。

ただし、多読は「三週間で英語ができるようになる…」方法ではありません。目の前の試験に向けて即効性のある方法を必要としている方のご希望には添えませんので、ご了承ください。

### 1. 100万語英語多読とは

100万語英語多読は、NPO多言語多読理事長の酒井邦秀先生が提唱され始めた英文読書法で、右記「多読三原則」に従って、やさしい英文から読み始めます。補足すると、

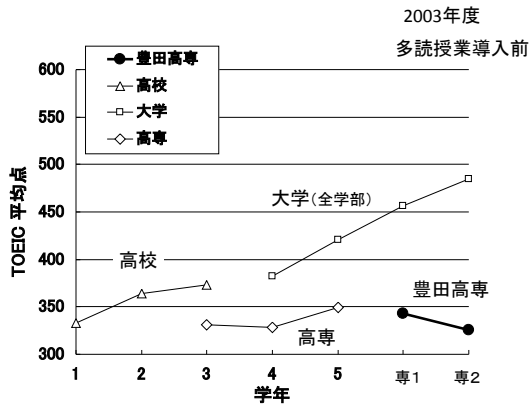
- 1) 辞書を引かない
- 2) わからないところは飛ばす
- 3) 進まなくなったらやめる

- 1) まず、読書中に辞書を引きません。辞書を引いても文脈に合った意味は分からないことが多く、読書を中断するからです。そもそも、日本語を気にせず、英文から直接内容を理解するようにならないと英文読書は楽しめないのです。辞書を引かなくても楽しめる絵本から始めましょう。
- 2) 物語が「わからない」理由は、知らない単語や表現があるからとは限りません。日本語の小説で、知らない単語を読み飛ばしますように、英文を読みます。和訳せず、英文から直接情景を思い浮かべる（多読の）読み方が、多読の特長です。
- 3) それでも読書が進まないのは、難しい本、趣味に合わない本を選んだからです。最後まで読もうとせずに、次の本（もっとやさしい本、趣味の合う本、おもしろいと思える本）を手に取ります。

多読では、やさしい英語の本が大量に必要なため、図書館の活用が不可欠なのです。

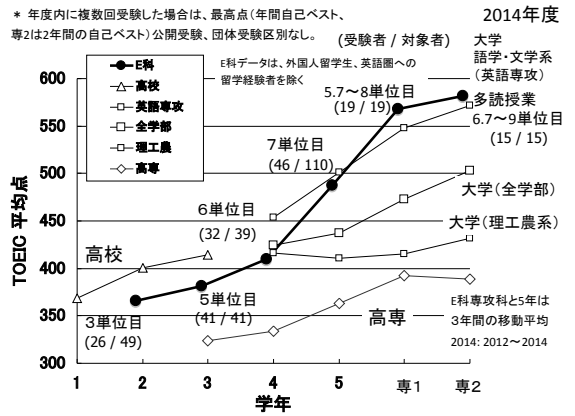
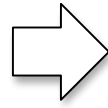
### 2. 英語多読100万語の効果

数百冊の絵本を読んで、読書量がのべ30万語になる頃、（やさしい英文なら）和訳せずに楽しめることを実感し、100万語読む頃には、快適に読める英文を自分で判断できるようになります。また、TOEIC得点でも顕著な変化を期待できます。実際に、2003年度以前には英語を苦手としていた高専生が、4～7年継続の多読授業で平均100万語以上のやさしい英文図書を読み、TOEIC得点を英語専攻の大学生（全国平均）並みまで上昇させた事例（次頁の図）は、多くの人に安心感を与えるでしょう。豊田高専では、2002年に多読授業を導入してから、これまでに200人の学生が在学中に100万語を読破し（2015年6月現在）、英語への苦手意識を克服、英文読書を楽しんでいます。



学生の TOEIC 得点（多読前：2003 年度）

100 万語  
以上の  
多読



（多読授業 6.7～9 単位追加後：2014 年度）

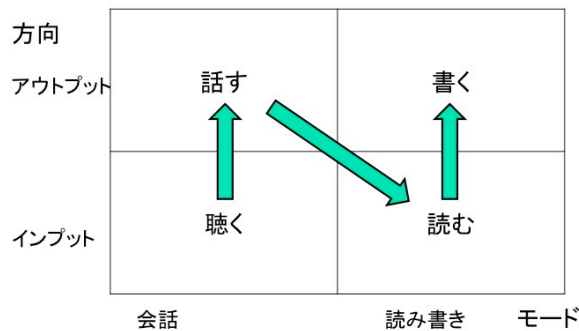
E 科：豊田高専電気・電子システム工学科

### 3. 母国語と外国語習得の違い

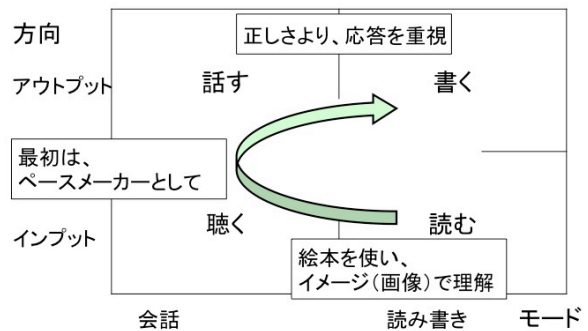
外国語である英語の 4 技能を（自然習得できる母国語のように）聴く／話す／読む／書くの順で身につける（下図左側）には 3 つの障害があり、特に大人の習得を難しくしていました。

- 1) 300 時間の壁（リスニング） 英語の音を雑音から区別するために、300 時間程度（聴きとれない）英語を聴き続ける必要があります。これが辛くてリスニング体験を諦める人が多いのです。
- 2) 会話の罫 アウトプット能力（例えば、話す）は、短期間で（ある程度）変化しますが、（使わないと）短期間で戻ります。また、インプット能力（例えば、聴く）以上にはなりません。
- 3) 訳読と読書の混同 訳読と読書は全く別の活動ですが（訳読時は日本語で理解、英文読書時は英語のまま）混同されています。和訳しないと理解できない状態を「日本人は読めるが話せない」と称するのは不正確で、「日本人は訳せるが、読めない、話せない」と記述すべきです。

#### 4 技能の育て方（母国語）



#### 4 技能の育て方（多読・多聴）



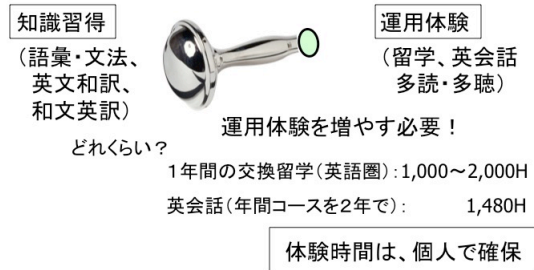
これを乗り越えるため、多読・多聴では、絵本を読むことから始めます（上図右側）：

- 1) 豊富なさし絵から、ものがたりの内容を理解し、その助けを借りて英文を読み、脳裏にイメージ（画像）を思い浮かべる練習をします。また、読書中はなるべく日本語を思い浮かべないよう努力します。辞書引き、文法解析、ノート取りは、日本語を使ってしまうので、なるべく避けます。
- 2) 大人には、朗読を聴きながら読むこと（朗読はペースメーカーとして使い、内容はテキストから理解します）が有効です。朗読のペースに合わせて読むため、戻り読みを防止でき、また、上記 300 時間の壁を（知らないうちに）乗り越える助けにもなります。
- 3) アウトプットを楽しめる人は動機付けになりますが、和文英訳しての発話では効果を期待できません。聴き取れば、リラックスした片言会話も楽しめます。インプット育成を優先しましょう。

#### 4. 足りないのは運用体験の量

授業外では英語を使わない環境で外国語を習得するには、意識して運用体験を積むことが不可欠

#### 英語教育における位置づけ



です。英語圏に1年間留学した高専生は、英語の音を雑音から区別するのに300時間、日常会話レベル（TOEIC 600点程度）までに1,000~2,000時間を要しています。All Englishの英会話授業でも（TOEIC300程度の生徒が600点以上になるのに）平均1,000時間以上は必要です。1,000時間の運用体験には、1日1時間で約3年かかります。

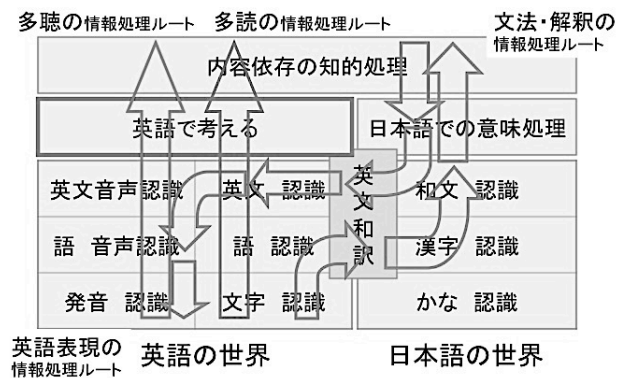
日本の学校教育では、英語運用体験時間が極めて少ないので（中高6年間で、のべ数10時間？）、

多くの日本人は、卒業後に数100時間~数千時間の運用体験が必要なのです。

#### 5. 多読・多聴は脳内留学

日本の英語の授業では、学生、生徒は日本語で意味処理をしており、「英語で考えて」いません。例えば、英語購読の授業では、英文を和訳後に（日本語で）意味処理をしています（右図：文法・解釈の情報処理ルート）。一見英語を使っているように見える、コミュニケーションの授業でも、多くの学生は、日本語で考えた文を和文英訳してから、発話しています（右図：英語表現の情報処理ルート）。

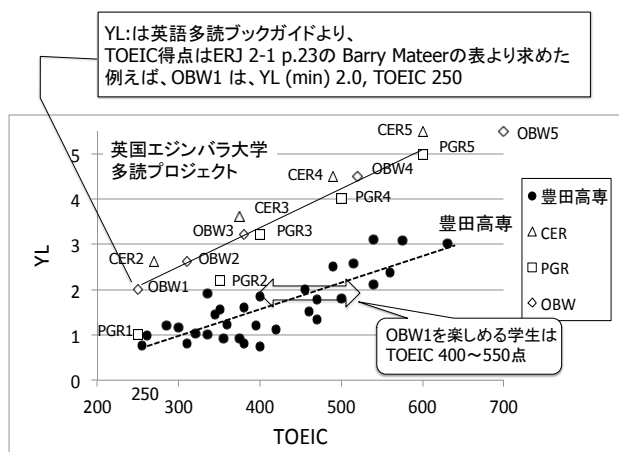
#### 英語コミュニケーションにおける情報処理の階層と処理ルート



いずれも学生は日本語で考えており、英語の運用体験とは言えないのです。

これに対し多読・多聴では、和訳を避けて英語（と絵）の世界だけで情報処理します。英文を一文ずつ和訳するのでなく、英文から直接意味をとる（物語を画像イメージとして思い浮かべる）ので、読書中は「英語で考える」ようになります。このような読み方をすれば日常生活で英語を使わない日本の環境下でも、言わば「脳内」留学のように、頭の中では英語を使う（読む、聴く）体験を積むことができるのです。

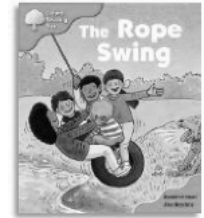
#### 6. やさしい英文の必要性



多読用読本の出版社の多くは、英国エジンバラ大学多読プロジェクト（EPER）が欧州人向けに設定した英文レベル（左図実線）で、図書館を推薦していますが、このレベルは日本人には難しすぎます。例えばOBW1\*1（Oxford Bookworms Stage 1）は、EPERではTOEIC 250点の学習者（中学3年生？）への推薦図書となりますが、YL2.0\*2の本は、豊田高専の多読クラスでは、TOEIC 400~550点の学生でないと楽しんで読めていません。400点未

満の学生では、英文を一文ずつ和訳しないと意味を把握できず、読書を楽しめないのです。

不幸なことに EPER レベルは一文ずつ和訳して読むことのできるレベルと一致するため、（和訳せずに読む 100 万語）英語多読が、（数万語の？）英文和訳と混同される一因になっています。大手書店の洋書売り場で図書推薦に使われる TOEIC 得点表示も要注意です。サラサラ読めるやさしい英文を読みましょう。



## 7. 100 万語までのモデルコース

高校・大学生、大人が目に見える効果を上げるために必要な 100 万語の英文を、北部図書館を利用して読むためのモデルコースを示します。

### （最初の 10 万語は、絵本の多読で）

多読の入門に最適なのは Oxford Reading Tree (ORT と略称\*)です。北部図書館には、ORT が Stage 1+ (YL0.1\*2) から Stage 9 (YL1.0) まで 180 タイトル揃っており、手軽に利用できます。まずは、ORT3～9：全 132 タイトルを、やさしいものから順に全部読んでみましょう。のべ 10～20 時間の読書時間で、のべ読書量は約 7 万語になります。

ORT は英国の子供たちが読み方を楽しく学べるよう企画された絵本のシリーズで、主人公一家の日常から子供達の冒険へと発展するストーリー展開と、きれいなイラストで日本でも人気があります。シリーズを通して登場人物と背景が共通し、一つの世界を作っているのも、シリーズ全体を大きな物語として楽しめます。イラストをじっくり見ればストーリーを把握できるので、英文を和訳する必要もありません。特に学校英語を熱心にやりすぎて、常に英文を和訳するクセが身に付いている人は、絵本の多読で、この習慣（悪癖）から脱し、英文（とイラスト）から内容を把握する練習をしましょう。知らない単語や表現を探すのではなく、むしろイラスト内の細かな遊びを探し、物語の世界を堪能するのがポイントです。付属 CD を利用して、朗読を聴きながら読むのもお勧めです。一回目にイラストを楽しみながら（CD を使わずに）読んだ後、二回目は CD の朗読に合わせて、再度読んでみましょう。戻り読みを防止でき、ついつい和訳してしまう習慣を抑えるのに効果があります。

お急ぎの人も、Stage 4 の「1 House For Sale」～「6 The Storm」は、通して読みましょう。主人公一家が新しい家に引越し、子供達が魔法のマジック・キー（Magic Key）を発見するまでが語られます。続く Stage 5 の「1 The Magic Key」で子供達の冒険旅行が始まり、Stage 6 以降のメインストリームになります。

ORT7 まで読んだら、ORT8,9 と合わせてその他の絵本も読んでみましょう。一番のお勧めは、Biscuit シリーズ、Little Bear シリーズ、を含む絵本の I Can Read Books (ICR0～1: 175 冊、一部朗読 CD あり) ですが、他に、Black Cat Earlyreads (BCE1～5: 36 冊、一部朗読 CD あり)、CTP Learn to Read (CTP1～3: 96 冊、読み物／算数／社会／科学の 4 分野、6 冊毎に朗読 CD) と、英語多読コーナーにはこのレベルの絵本が豊富に揃っています。

やさしい絵本で最初の 10～15 万語を読んだら、次は、英語学習者向けに語彙、文法、テキストの長さを制限して書かれた読本：“Graded” Readers (GR と略称) と児童書を組み合わせ、のべ 100 万語読破を目指しましょう。以下、100 万語までを 3 つのステップに分け、お勧め図書を紹介します。

### （10～25 万語は、レベル 0～1 の GR で）

絵本で 10～15 万語読んだら、次はレベル 0～1 (YL0.8～1.2) の GR を中心に 25～30 万語まで読んでみましょう。GR は絵本に比べて文字が小さく、挿絵の魅力は落ちますが、これらを気にせず、英文の表現に注目すると、意外に読みやすいことに気づきます。「知らない単語はほとんど無いけれど、

表現が単調だなあ」と思われたら、ズバリ GR の特徴を捉えています。レベル0～2の GR (YL0.8～2.8) は、ほぼ中学校で習った基本単語だけで書かれているからです。表1の GR 約50冊を全巻読めば9万語になります。

表1 レベル0～1のGR

シリーズ (略号)	YL	冊数	CD 付き	平均語数 (万語/冊)
Macmillan Readers Starter (MMR1)	0.8	5	5	0.07
Penguin Readers Easystarts (PGR0)	0.8	11	11	0.09
Oxford Bookworms Starter (OBW0+)	0.9	10	10	0.15
Cambridge English Readers Starter (CER0)	1.0	10	－	0.22
Penguin Readers Level 1 (PGR1)	1.0～1.4	16	16	0.25

さらに人気の絵本、例えば、C. Rylant 作の Mr. Putter & Tabby (20冊) と、Frog and Toad シリーズ、Amelia Bedelia シリーズを含む I Can Read Books Level 2 (ICR2: 153冊、一部朗読 CD あり) から45冊読めば、計6万語にて、表1の GR : 9万語、ORT 等の絵本 : 10万語と合わせて、のべ25万語になります。

このレベルの GR を読むときのコツは、内容の面白さを期待しないことです。限られた語彙、表現と短いテキストの中で「面白い」物語を書き上げることが、極めて困難なことは想像に難くないでしょう。この段階では、物語の面白さや、挿絵の好き嫌い等の贅沢を言わないで、まずは、図書館にある全ての本を読むつもりで進めましょう。

#### (25～50万語は、レベル2のGRで)

レベル0～1のGRを全て読んだら、レベル1で長めのGRとレベル1の児童書に進みます。例えば、表2から約60冊を選んで読めば、のべ50万語に達します。このレベルになると、作品によっては内容を楽しめる本も出てくるでしょう。

表2 レベル1で長めのGRと児童書

シリーズ (略号)	YL	冊数	CD 付き	平均語数 (万語/冊)
Macmillan Readers Beginner (MMR2, 薄い方)	1.2	4	－	0.26
Cambridge English Readers Level 1 (CER1)	1.4	12	－	0.43
Black Cat Green Apple Step 0 (BCG0)	1.4	19	－	0.38
Black Cat Green Apple Step 1 (BCG1)	1.6	25	－	0.57
Nate the Great	1.2～2.0	26	－	0.22

例えば、CER1では、“Inspector Logan”が、レベル1で楽しめるミステリとして人気があります。その他に、日本を舞台にした“The Big Picture”, コミカルな“Help!”, けっこう怖い“John Doe”など、ジャンルも様々です。また、BCGは、イタリアで出版されたGRです。

さらに、このレベルの児童書として、Nate the Great シリーズも試してみてください。邦訳：「ぼくは名探偵」で知られる古典的作品で、プロの探偵を気取る Nate 少年が、名犬 Sludge の助力を得て、難(?) 事件を次々に解決する物語です。母国語の読者が対象の児童書は、GR のように語彙、文法の制限がなく、知らない単語やひねった表現も遠慮なく使われますが、長年の読者の評価に耐えた作品は「面白い」です。英語学習としての多読が、純粋な読書に変化していくキッカケにもなりますので、知らない単語を飛ばして読む、多読の読み方に慣れるためにも、シリーズをまとめて読んでみましょう。

**（50～100万語は、レベル2～3のGRで）**

50万語を超えたら、黒い装丁が渋いOBW1を読んでみましょう。オリジナルと古典のRetoldの両方がありますが、読みやすいのはオリジナルです。古典のRetoldが中心のMMR2+は、大人に人気があります。登場人物が多いので、人物紹介のページを参照しながら読みましょう。“Jane Eyre”, “The Phantom of the Opera”, “A Tale of Two Cities”など有名作品が揃っています。

古典と映画のRetoldが中心のPGR2は、作品によって読みやすいと感じるものと、読みにくいと感じるものの差が大きいようです。裏表紙のあらすじを参考に、好みに合いそうな本を探しましょう。読み始めて合わないと思ったら、すかさず投げるのも大切です。映画を小説化した作品は、その映画を観ていない人には手強く感じられるはずで、映画を観た作品を選びましょう。

挿絵の少ない作品では、読書速度は毎分100語が一つの目安です（OBW1の“Goodbye Mr Hollywood”なら5,712語なので、約1時間で読めればOKです）。読書速度がこれより顕著に遅い場合は、和訳しながら読んでいる可能性が高いので、無理してこのレベルの本を読むよりも、YL0.8～1.2の本を気軽に読み直す方が安全です。ただし、読書速度は頻繁に測ると、速く読もうと無理して読むようになる（これまた、疲れてしまう）ので、要注意。

表3のGRから、約80冊を読めば、のべ100万語を読破できます。いずれも、1冊読み終わるのに1時間程度かかるはずで、週末等を利用して、一気に1冊読み切ることも試してみてください。1時間読み続けても疲れなくなれば、英語多読は軌道に乗ったと考えられます。

表3 レベル2のGRと児童書

シリーズ（略号）	YL	冊数	CD付き	平均語数 （万語/冊）
Oxford Bookworms Stage 1 (OBW1)	2.0	37	37	0.55
Macmillan Readers Beginner (MMR2+, 厚い方)	1.6～2.0	8	8	0.80
Penguin Readers Level 2 (PGR2)	2.2～2.4	30	30	0.70
Oxford Bookworms Stage 2 (OBW2)	2.6	40	40	0.65
Magic Tree House (MTH)	2.4	28	28	0.54

さらに、この段階では、Magic Tree House (MTH)シリーズ等、英語圏の小学生低学年向けに書かれた児童小説も試してみましょう。外国語としての英語学習者用に使用語彙や文法構造を制限して書かれたGRに比べ、児童小説ではこのような制限がありません。豊かな表現の代わりに、未知語、未知表現も多くなります。ここで、細部を気にしすぎずに物語の展開を追う、多読の読み方に変わってきているかを確認することができます。

**8. 多読を楽しく続けるために**

これまで述べたように、英語多読は従来の英語学習法とは異なるアプローチをとります。楽しく続けるためにも、以下の点を注意しましょう。

**1) 「英語で考える」ためには、極めてやさしい英文から**

日本の学校英語教育では、語彙と文法を学び、これらの知識を用いて英文を和訳する（一文ずつ日本語文に翻訳し、日本語文を通して意味を理解する）ことを、英文を「読む」こととしてきましたが、これで英文小説を楽しめるようになった日本人は極めて稀です。例えば、Harry Potter 第1巻は、日本語版なら1～2日で気軽に読める児童小説ですが、7.7万語の英文をワクワクしながら数日以内に読み切る知人をご存知でしょうか。1章だけなら英文和訳もできますが、丸ごと一冊訳

しながら読むのでは苦行になってしまいます。多読の第一歩は、英文和訳から卒業することです。

## 2) 知識より体験

試験勉強（試験の前に、傾向と対策に従い、必要最小限の知識を効率よく覚えようとする行動）は、学校教育の暗黒面でしょう。ルールと戦略を教室で学ぶだけで野球が上達することは考えられないのと同様に、文法と語彙を覚えるだけで、外国語を使えるようになることはあり得ません。英語学習には、スポーツや音楽演奏と同様、一定期間の練習（実際に、言語を使用する体験）が不可欠なのです。やさしい絵本で10万語読み、（和訳しない）読み方を体得したら、モデルプランを参考に、まずは100万語を当初の目標として、英語を使う体験を積みましょう。

## 3) 英語多読を趣味として

楽しく続けるためには、英語多読を趣味とするのが一番です。学習法として子供（や孫）に押し付けるのではなく、趣味（の一つ）として自分で始めましょう。まずは焦らず、気長に構えることです。「3ヶ月後のTOEICで得点を50点上げたい」から読むのではなく、「5年後にはHarry Potterを読み始めたい」という方が、イメージが合います。多読の楽しみは、（徐々に長い英文を読むようになってしまう）自らの変化の発見と、新しい世界との出会い（お気に入りの作家や未知の作品の発掘）です。同好の仲間との多読談義など、他の趣味と同様に楽しみの広がりもあります。

## 4) 図書館とインターネットを活用しよう

やさしい英文絵本を大量に読むことから始める多読の、最大の障害はコストでした。ORT166冊で約8万円と入門用教材だけで10万円を越え、数ある高価な英語教材と同様の支出が必要になってしまいます（しかも、入門用教材を何度も繰り返して読むことは稀です）。少なくとも1冊10万語程度の大衆小説が読めるようになるまでは、図書館で借りて読むのがよいでしょう。

また、インターネット上にも、多読を支援する有用なサイトがあります（次節の11）～14）。全国が多読愛好者との情報・体験交換や、各レベルのお薦め作品の発掘に活用してみましょう。

## 9. 参考資料

読む本を選ぶのに、役に立つのは、

- 1) 「めざせ1000万語！英語多読完全ブックガイド」古川昭夫&神田みなみ他、コスモピア
- 2) 「大人のための英語多読入門」佐藤まりあ、コスモピア

読書を継続するのに役に立つのは、

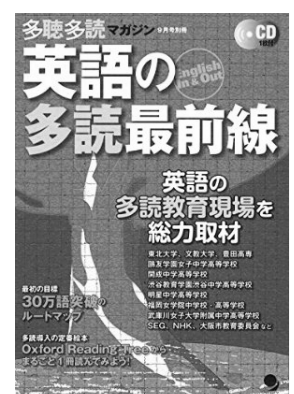
- 3) 「100万語多読入門」古川昭夫、コスモピア
- 4) 「読書記録手帳」SSS英語学習法研究会、コスモピア

100万語多読の考え方を知るには、

- 5) 「快読100万語！ペーパーバックへの道」酒井邦秀、ちくま学芸文庫
- 6) 「英語多読法」古川昭夫、小学館101文庫

英語教育に興味のある方には

- 7) 「英語多読・多聴指導マニュアル」高瀬敦子、大修館書店
- 8) 「図書館多読への招待」酒井邦秀&西澤一、日本図書館協会
- 9) 多聴多読マガジン 2014年9月号別冊「英語の多読最前線」、コスモピア  
（紹介校：東北大学、豊田高専、開成中高、府中第一小、大阪市教育委等）



また、雑誌とインターネットサイトとして

- 10) 「多聴多読マガジン」コスモピア（隔月刊）

特に、2014/4月号、2013/12月号、2013/4月号、2011/4月号の特集記事は参考になる

- 11) SSS 英語多読研究会 HP (<http://www.seg.co.jp/sss/>) 掲示板／書評システム  
 12) NPO 多言語多読 HP (<http://tadoku.org/>) 酒井先生と仲間たち  
 13) 「英語で多読」HP 豊田高専の実践報告 ([http://www.ee.toyota-ct.ac.jp/er\\_english.php](http://www.ee.toyota-ct.ac.jp/er_english.php))  
 14) 豊田高専 HP (<http://www.toyota-ct.ac.jp/>)公開講座の案内／図書館開館予定／多読セミナー予定

## 10. 図書館で多読を始める社会人が増えています

静岡県では、静岡市立北部図書館に加え、富士宮、浜松市立図書館にも多読用図書があり、沼津高専、常葉大学が英語多読授業を実践しています。

愛知県では、10館以上の市立図書館が英語多読コーナーを設置し、多くの市民が多読を楽しんでいます（参考資料8）。利用の多くは30歳以上の社会人で、従来は女性の比率が高かったのですが、最近では2019年のラグビーWCや2020年のオリンピックに備えて多読を始める方も少なくなく、男性の利用者も増えてきました。

## 11. 豊田高専では、なぜ英語多読授業を始めたのか？

豊田高専（電気・電子システム工学科）は、NHK ロボコン全国大会、ロボカップ世界大会出場で知られるように創造的な技術者育成では実績がありますが、12年前までは英語教育で悩んでいました。社会のグローバル化で技術者にも英語が必要な時代なのに、豊田高専卒業生の英語運用能力は低く、英語への苦手意識が強かったからです。JABEE（学部レベルの技術者教育プログラム外部評価）認定のためにも、卒業生の英語運用能力を保証する必要がありました。

そんな中、吉岡が2002年10月から5年生の授業で英語多読を始めたところ、「英語に対する苦手意識が消えた」、「英文が楽しく読める」と好評だったため、2004年度には図書館に5,300冊の多読用英文図書を準備し、6年間継続の英語多読授業（専門科目）を始めました。2008～2010年には「質の高い大学教育推進プログラム」（教育GP）にも採択され、現在では学校全体で複数年継続の英語多読授業（一般科目）も展開しています（同校図書館の多読用図書は3万2千冊。長期休暇期間以外は土曜開館し、年間1万冊の学外貸出実績があります）。

多読授業の効果もあり、ロボカップ世界大会（2014年は7月にブラジルで開催。豊田高専チームは小型機部門で12位）では、約一週間の大会期間中、学生が臆することなく、英語で審判や他国チームの学生達とコミュニケーションを取るようになってきています（詳細は、参考資料8）。

また、多読は、留学の事前・事後学習として適していることも分かってきました。例えば、300万語読んでから米国の高校に（10ヶ月間）留学した学生は、当初から言葉で困ることが少なく、より充実した留学生活を送ることができ、帰国直後にはTOEIC900点台を取得しています。さらに、帰国後も年間100万語単位の多読を継続することで、この英語力を維持（または向上）できています。

近年では、「英語教育：多読授業の充実」を志望理由の一つに挙げる新入生も増えてつあります。

\*1 略号：100万語英語多読法では、本のシリーズを示すのに、よく4文字の略号を使います。例えば、Oxford Reading Tree Stage 5 は、ORT5 と呼ばれます。

\*2 YL（読みやすさレベルの略称）：100万語英語多読法では、読みやすさを、最も易しいYL0.0から、一般のペーパーバック：YL7.0～9.0までの数値で表しています。

文責： 豊田高専 電気・電子システム工学科 西澤 一